

2012年3月12日

国土交通省が推進する平成23年度第3回「住宅・建築物省CO₂先導事業(特定被災区域部門)」
に採択
「サステナブルエネルギーハウス（東北応援しよう）」
～ 主要構造材、無垢床材等、東北産材を積極的に活用 ～

住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田区）は、国土交通省が推進する平成23年度第3回「住宅・建築物省CO₂先導事業（特定被災区域部門）」において、その提案が省CO₂の実現性に優れた住宅・建築プロジェクトとして採択されましたのでお知らせいたします。

「住宅・建築物省CO₂先導事業」は、省CO₂対策を強力に推進し、住宅・建築物の価値を高め、あわせて居住・生産環境の向上を図ることを目的として、国土交通省が平成20年度から実施している事業です。平成23年度第3回は、震災被災地を対象とした「特定被災区域部門」が設置され、ゼロ・エネルギー住宅の普及促進、東日本大震災からの復興における省CO₂の実現性に優れた住宅・建築プロジェクトに対し、整備費等の一部が補助・支援される取り組みとなっています。今回は、全21件の提案が「住宅・建築物省CO₂先導事業」として採択されています。

■当社の提案・採択のポイント

CO₂を吸収固定した国産材を積極的に用いた木造住宅であり、主要構造材に積極的に東北産材を活用しています。資材の輸送エネルギーを削減するとともに、地域産材の活用、材の製造を通し、被災地の復興支援へも寄与します。住まいにおいては、風、太陽、緑といった自然エネルギーを利用するパッシブ設計の“涼温房(りょうおんぼう)”設計と、太陽光発電、高効率省エネ機器活用によるアクティブな技術に加え、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）の活用によるエネルギーの“見える化”を行い、住まい手の省エネ行動を推進するとともに、専用Webサイト上で住まい手同士の情報交換、共有により、省CO₂実現に向けたエコな住まい方を提案します。省エネ・創エネ技術をバランスよく採用し、住まい手の省エネ意識等の喚起にも配慮して、総合的に波及、普及を目指すしくみが評価され採択となりました。

■「サステナブルエネルギーハウス 東北応援しよう」提案概要

- (1) 柱、土台など主要構造材に東北産材を活用。
 - ・土台-檜、大引・管柱・小屋組-杉、梁-カラマツ、床合板-カラマツ、杉を使用。
- (2) 一部の居室に東北産材による無垢床を提案。
 - ・居室の床材に東北産材（くり、なら、けやき、くるみ）を活用した無垢床を提案。
- (3) 次世代省エネルギー基準（II地域）を超える断熱性能、パッシブ設計の“涼温房”設計
 - ・次世代省エネルギー基準を上回る断熱・気密性能に加え、太陽・風・緑といった自然エネルギーを活かし、冷暖房設備に頼りすぎない省エネルギーな住まいを実現する設計提案。
- (4) 太陽光発電システム、高効率な省エネ設備を搭載。
 - ・太陽光発電システム5.6kW以上搭載、再生可能エネルギーの積極活用を図る。また、キッチン・バスなど節水型の機器の導入とともに、高効率な冷暖房・給湯設備を設置。

(5) 住まい手の省エネ意識を喚起するHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）によるエネルギーの見える化。

・電力計測タップに接続した家電機器の個別の消費電力、太陽光発電システムによる発電量や売電量をタブレット型専用モニター上で見える化し、電気の使いすぎやムダへの気づきを促し、省エネルギーなく暮らしにつなげる。

(6) オーナー参加型WEBサイトの活用。

・専用の顧客WEBサイトにより住まい手の「省CO₂」の工夫を紹介。WEB上のコミュニケーションツールを活用することで、住まい手同士のコミュニケーションを図り、より実効性、波及性の高い省CO₂行動を促す。



以上

《本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。》

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 松家・佐藤
TEL：03-3214-2270